

(4) 高等学校

高等学校・総則に関わる構成等の改善のイメージ

「社会に開かれた教育課程」の理念の実現に向けて、高等学校学習指導要領及び解説における、総則に関わる構成等の改善のイメージを示すもの。

追加又は整理すべき視点(例)

高等学校学習指導要領の構成

第1章 総 則

教育課程編成の一般方針、各教科・科目及び単位数、各教科・科目等の履修、各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動の授業時数、内容等の取扱いに関する共通事項、指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項等について規定

第2章 各学科に共通する各教科

各教科・科目ごとに、目標、内容、内容の取扱いを規定

国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報

第3章 主として専門学科に設置される各教科

各教科ごとに、目標、内容、内容の取扱いを規定

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉、理数、体育、音楽、美術、英語

第4章 総合的な学習の時間

第5章 特別活動

【実字】は、高等学校に固有の観点

第1款 教育課程編成の一般方針

- ・教育基本法、学校教育法等に示された教育の目的、目標
- ・学力の3要素、言語活動の充実、生徒の学習習慣の確立
- ・道徳教育 ・体育・健康に関する指導
- ・就労やボランティアに関わる体験的な学習の指導

第2款 各教科・科目及び単位数等

- ・卒業までに履修させる単位数等
- ・各教科、科目及び総合的な学習の時間な学習の時間の単位数等
- ・学校設定教科、科目

第3款 各教科・科目の履修等

- ・各学科に共通する必修教科・科目及び総合的な学習の時間
- ・専門学科、総合学科における各教科・科目の履修等

第4款 各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動の授業時数等

第5款 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項

1. 選択履修の趣旨を生かした適切な教育課程編成

- 各教科・科目等の内容等の取扱い
- 指導計画の作成に当たって配慮すべき事項

- ・各教科・科目の相互の関連を図った発展的、系統的な指導
- ・各事項のまとめ方や重点の置き方の工夫

2. 義務教育段階での学習内容の確実な定着

- ・道徳教育の全体計画の作成

3. 職業教育に関して配慮すべき事項

- ・普通科における配慮事項 ・ 専門学科における配慮事項
- ・進路指導等の充実

4. 教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項

- ・言語活動の充実 ・ 個々の生徒の特性等の伸張
- ・生徒指導の充実 ・ キャリア教育の推進
- ・生徒が見通しを立てたり振り返ったりする活動
- ・個に応じた指導の充実 ・ 学習の遅れがちな生徒などへの配慮
- ・障害のある生徒などへの配慮 ・ 海外から帰国した生徒などへの適切な指導
- ・情報モラル、情報活用能力 ・ 学校図書館の計画的な利用、読書活動の充実
- ・部活動の意義と留意点 ・ 評価による指導の改善、学習意欲の向上
- ・家庭や地域との連携、学校間の連携や交流、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習、高齢者などとの交流の機会

第6款 単位の修得及び卒業の認定

- ・単位の修得の認定 ・ 卒業までに修得させる単位数
- ・各学年の課程の修了の認定

第7款 通償制の課程における教育課程の特例 173

学校生活の核となる教育課程の意義
18歳の段階や義務教育段階で身につけておくべき力の共有
高等学校の教育課程全体を通じて育成する資質・能力
知・徳・体の総合的な育成の視点
教科等各教科等の本質的意義と教育課程の総体的構造
横断的に育成を目指す資質・能力と教科等間の関係
教育課程編成の在り方(カリキュラム・マネジメント)の視点
学習・指導方法の改善(アクティブ・ラーニング)の視点
教育課程全体において重視すべき学習活動等 (習得・活用・探究、言語活動、体験活動、問題解決的な学習、自主的・自発的な学習、見通し・振り返り、繰り返し指導、情報機器やネットワーク等の活用、社会教育施設等の活用、学校図書館を活用した読書活動、美術館や音楽会等を活用した芸術鑑賞活動等)
多様な個に応じた指導の在り方(優れた才能や個性を有する児童生徒への指導や支援、海外から帰国した子供や外国人児童生徒への日本語指導・適応指導等、学び直し、習熟度別指導等)
インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた連続性のある「多様な学びの場」における十分な学びの確保
学校段階間の接続
部活動の位置づけ
キャリア教育の視点
生徒指導、進路指導

前文

⇒「社会に開かれた教育課程」の実現や学校の役割、教育課程を中核に地域・家庭と連携・協働しながら、学校教育の改善・充実を図っていくことの重要性など今回改訂が目指す理念について示す

何ができるようになるか

総則

第1款 高等学校教育の基本

1 教育基本法、学校教育法等の法令に示された高等学校の目的、目標の達成に向けた教育課程の意義

2 「生きる力」の理念に基づく知・徳・体の総合的な育成

- ・「確かな学力」 学力の3要素、生徒の学習習慣の確立
- ・「豊かな心」 道徳教育、豊かな情操の育成
- ・「健やかな体」 体育・健康に関する指導
- ・就労やボランティアに関わる体験的な学習の指導

3 高等学校教育を通じて育成を目指す資質・能力

- ・「生きる力」を一體的に捉えた、高等学校教育を通じて育成を目指す資質・能力の三つの柱について
- ・高等学校教育を通じて育成を目指す資質・能力と初等中等教育(幼・小・中・高)を通じて育成を目指す資質・能力との関係
- ・各教科等で育成する資質・能力との関係
- ・資質・能力を育むための主体的・対話的で深い学びの必要性

4 資質・能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントの実現

- ・各学校・学科において、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何が身に付いたか」「個々の生徒の発達をどのように支援するか」「実施するために何が必要か」という視点に基づき、教育課程を軸に学校教育を改善・充実していくことの必要性
- ・高等学校教育を通じて育成を目指す資質・能力に基づき、各学校において学校教育目標を設定し、それらを踏まえて、教科横断的な視点で教育課程を編成すること
- ・教科を越えた学校内の連携や地域等との連携を図りながら、教育課程の内容と人的・物的資源等を効果的に組み合わせることで実施することの必要性
- ・実施状況に関する各種調査やデータ等を踏まえ、教育課程を評価し改善することの必要性

何を学ぶか

第2款 教育課程の編成

1 学校教育目標に基づいた教育課程の編成

- ・各学校・学科において、育成を目指す資質・能力を含めて示す学校教育目標に基づき、教育課程を編成する
- ・各学校・学科において、教育課程編成の基本方針を家庭・地域と共有する

2 教育課程の編成における共通事項

- (1) 各教科・科目及び単位数等
 - ・卒業までに履修させる単位数等
 - ・各教科、科目及び総合的な学習の時間な学習の時間の単位数等
 - ・学校設定教科、科目
- (2) 各教科・科目の履修等
 - ・各学科に共通する必修教科・科目及び総合的な学習の時間
 - ・専門学科、総合学科における各教科・科目の履修等
 - ・職業教育を主とする専門学科における各教科・科目の履修等
- (3) 各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動の授業時数等
- (4) 単位の修得及び卒業の認定
 - ・単位の修得の認定 ・卒業までに修得させる単位数
 - ・各学年の課程の修了の認定
- (5) 通信制の課程における教育課程の特例

3 中学校との接続

(初等中等教育全体を見通しつつ、中学校との接続に配慮すること)
(中等教育学校等において中高一貫教育の特徴を活かした特色ある教育課程編成の工夫をすること)

4 義務教育段階での学習内容の確実な定着や学習が遅れがちな生徒などへの配慮

- (1) 義務教育段階での学習内容の確実な定着
 - ・各教科・科目の指導における学習機会
 - ・必修教科・科目の標準単位数の標準の限度を超えて増加して配当する
 - ・学校設定科目等を履修させた後に、必修教科・科目を履修させる
- (2) 学習が遅れがちな生徒などへの配慮
 - ・各教科・科目の選択、その内容の取扱いなどについて必要な配慮を行う

5 横断的に育成を目指す資質・能力と教科等間関係

6 選択履修の趣旨を生かした適切な教育課程編成

7 各教科・科目等の内容等の取扱い

8 全体として、調和の取れた指導計画

- ・各教科、各学年間の相互の関連を図った発展的、系統的な指導
- ・各教科等の内容の指導上のまとまり(単元、題材、主題など)の重要性を踏まえ、各指導事項のまとめ方や重点の置き方を工夫した効果的な指導
- ・職業教育に関して配慮すべき事項
- ・道徳教育の全体計画の作成

174

第3款 教育課程の実施と学習の評価

1 教育課程の実施

(1) 指導内容の具体化

- ・第2章以下に示す各教科等の内容について、育成を目指す資質・能力をイメージし、主体的・対話的で深い学びを通じて計画的に育成するために、指導上のまとまり(単元、題材、主題など)を作り上げることの重要性
- ・特に重要となる学習活動の在り方
 - －資質・能力の育成の基盤としての言語の役割と言語活動を充実させることの必要性
 - －生徒が見通しを立てたり振り返ったりする活動

(※それぞれの活動等の意義や必要性、主体的・対話的で深い学びとの関連を記述)

(2) 教育課程の実施上の留意事項

- ・発展的な内容の指導と留意点
- ・個々の生徒の特性等の伸長

(※第4款1 個々の生徒の発達の支援 キャリア教育の充実との関係を整理)

- ・情報モラル、情報活用能力

(情報活用能力の育成と情報機器の活用とを分けて記述) (※第2款の5との関係整理)

- ・学校図書館の計画的な利用、読書活動の充実

2 学習評価を通じた学習指導の改善

- ・各教科等の目標に応じて評価を行う
- ・各学校において目標を定め、観点別に評価を行う(※各教科等の観点は示さない)
- ・生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い、資質・能力の育成に生かす

どのように学ぶか
何が身に付いたか

第4款 生徒の発達を踏まえた指導

1 生徒の発達の支援

- ・ホームルーム経営の充実を図り、教師と生徒の信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒指導を充実すること
- ・生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行い、キャリア教育を充実すること

(※職業に関する専門学科におけるキャリア教育の推進のための就業体験等、及び学校生活の全体を通じた個々の生徒の個性の伸長、との関係について整理)

- ・生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、習熟度別指導、課題学習、補充・発展学習など、個に応じた指導を充実すること

2 特別な配慮を必要とする生徒への指導

- (1) 障害のある生徒への指導
 - ・個々の生徒の障害の状態や学習上の困難に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと
 - ・通級による指導に関する教育課程の構造、配慮事項について
 - ・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成について
- (2) 海外から帰国した生徒等の学校生活への適応や日本語指導
 - ・個々の生徒の学校生活への適応と外国における経験をいかした指導
 - ・日本語の習得に困難のある生徒への指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと

実施するために何が必要か

第5款 学習活動の充実のための学校運営上の留意事項

1 学校の指導体制の充実

- ・学習指導を改善・充実していく体制(校内研修体制)
- ・学校間の連携、交流
- ・部活動の意義と留意点

2 家庭・地域との連携・協働

- ・家庭や地域との連携・協働
- ・障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習
- ・世代を越えた交流の機会(高齢者、異年齢の児童生徒など)

※ 各教科等の見方・考え方

⇒各教科等の学習において働かせる「見方・考え方」について、総則及び各教科等(解説を含む)において、その趣旨と具体的な内容を示す。

175

高等学校段階で共通して育成を目指す資質・能力 <論点整理(抄)>

- 高等学校は、中学校卒業後の約98%の者が進学し、社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付ける、初等中等教育最後の教育機関である。また、その教育を通じて、一人一人の生徒の路に応じた多様な可能性を伸ばし、その後の高等教育機関等や社会での活動へと接続させていくことが期待されている。
- こうした役割と責任を果たすことができるよう、昨年12月に取りまとめられた中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」等を踏まえ、一人一人の生徒が、義務教育を基盤として、①十分な知識・技能と、②それらを基盤にして答えのない問題に自ら答えを見いだしていく思考力・判断力・表現力等と、③これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度とを身に付けていくことができるよう、高大接続改革の全体像を見据えながら、高等学校教育の改革を実現していくことが求められている。その具体的な教育課程の在り方等については、下記に示すように「共通性の確保」と「多様化への対応」の観点を軸として検討する必要がある。
- 社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付ける「共通性の確保」の観点からは、昨年6月に中央教育審議会初等中等教育分科会高等学校教育部会が取りまとめた「コア」についての整理を踏まえつつ、全ての生徒が共通に身に付けるべき資質・能力を、三つの柱に沿って明確化し、それらを育む必修教科・科目等の改善を図るとともに、教科・科目等間の関係性を可視化していくことが必要である。

176

高等学校教育を通じて育成を目指す資質・能力に関する答申等

- 新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について（平成26年12月）<抄>

1. 我が国の未来を見据えた高大接続改革

(2) 高等学校教育、大学教育を通じて育むべき「生きる力」「確かな学力」の明確化

(略) 高等学校教育、大学教育を通じて育むべき「生きる力」を、それを構成する「豊かな人間性」「健康・体力」「確かな学力」それぞれについて捉え直すと、以下のように考えることができる。

① 豊かな人間性

高等学校教育を通じて、国家及び社会の責任ある形成者として必要な教養と行動規範を身に付けること。大学においては、それを更に発展・向上させるとともに、国、地域社会、国際社会等においてそれぞれの立場で主体的に活動する力を鍛錬すること。

② 健康・体力

高等学校教育を通じて、社会で自立して活動するために必要な健康・体力を養うとともに、自己管理等の方法を身に付けること。大学においては、それを更に発展・向上させるとともに、社会的役割を果たすために必要な肉体的、精神的能力を鍛錬すること。

③ 確かな学力

学力の三要素を、社会で自立して活動していくために必要な力という観点から捉え直し、高等学校教育を通じて(i)これからの時代に社会で生きていくために必要な、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を養うこと、(ii)その基盤となる「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」を育むこと、(iii)さらにその基礎となる「知識・技能」を習得させること。大学においては、それを更に発展・向上させるとともに、これらを総合した学力を鍛錬すること。

第2章 高校教育の質の確保・向上に関する課題・基本的考え方

1. 「共通性の確保」と「多様化への対応」

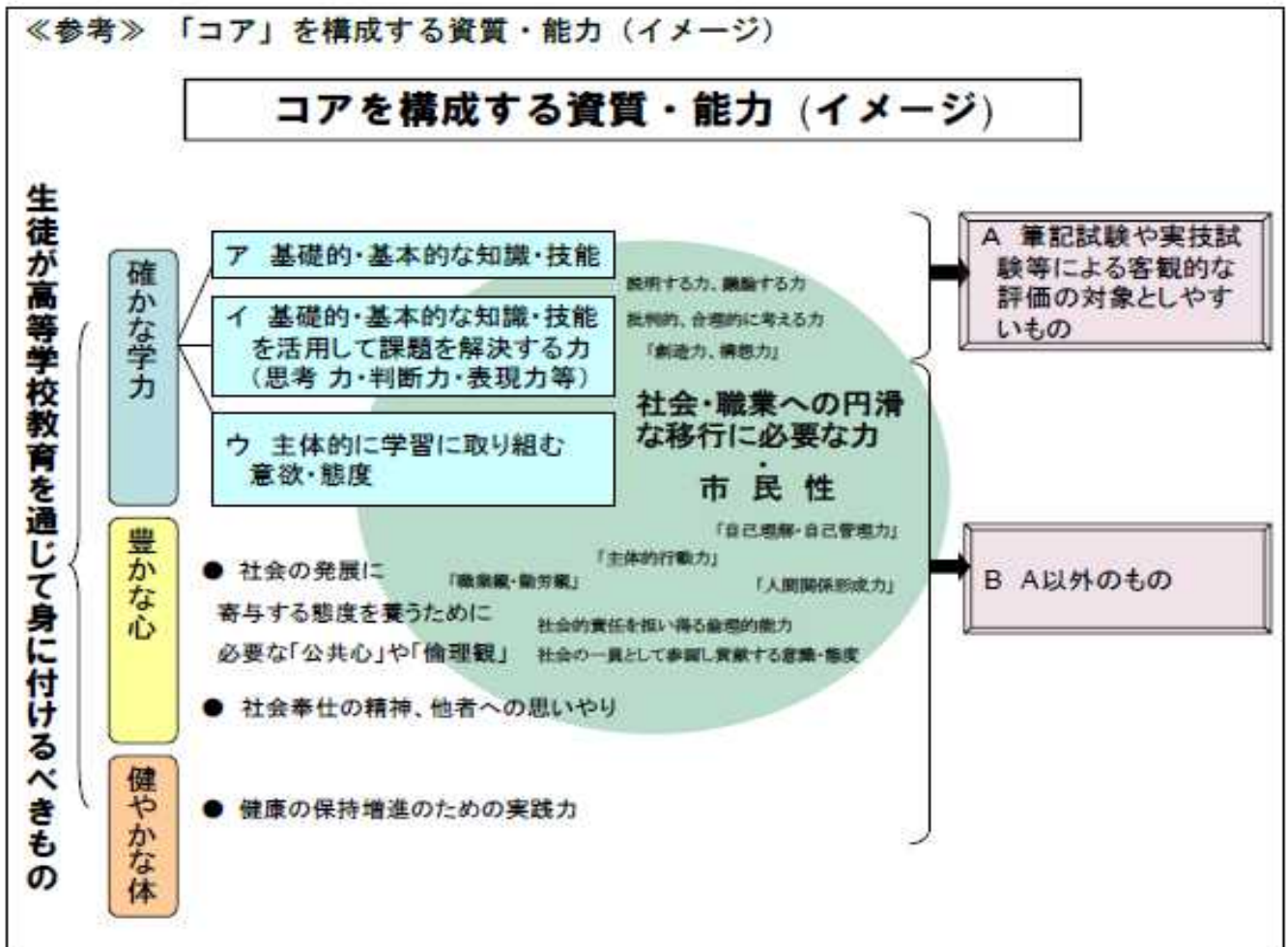
○ 本部会においては、これらの指摘も踏まえ、高校教育の共通性を確保するため、全ての生徒が共通に身に付ける資質・能力について、「コア」と位置付けた上で、その範囲・要素と評価の在り方について整理した。

2. 全ての生徒が共通に身に付けるべき資質・能力の育成＜共通性の確保＞

(2) 全ての生徒が共通に身に付けるべき資質・能力「コア」

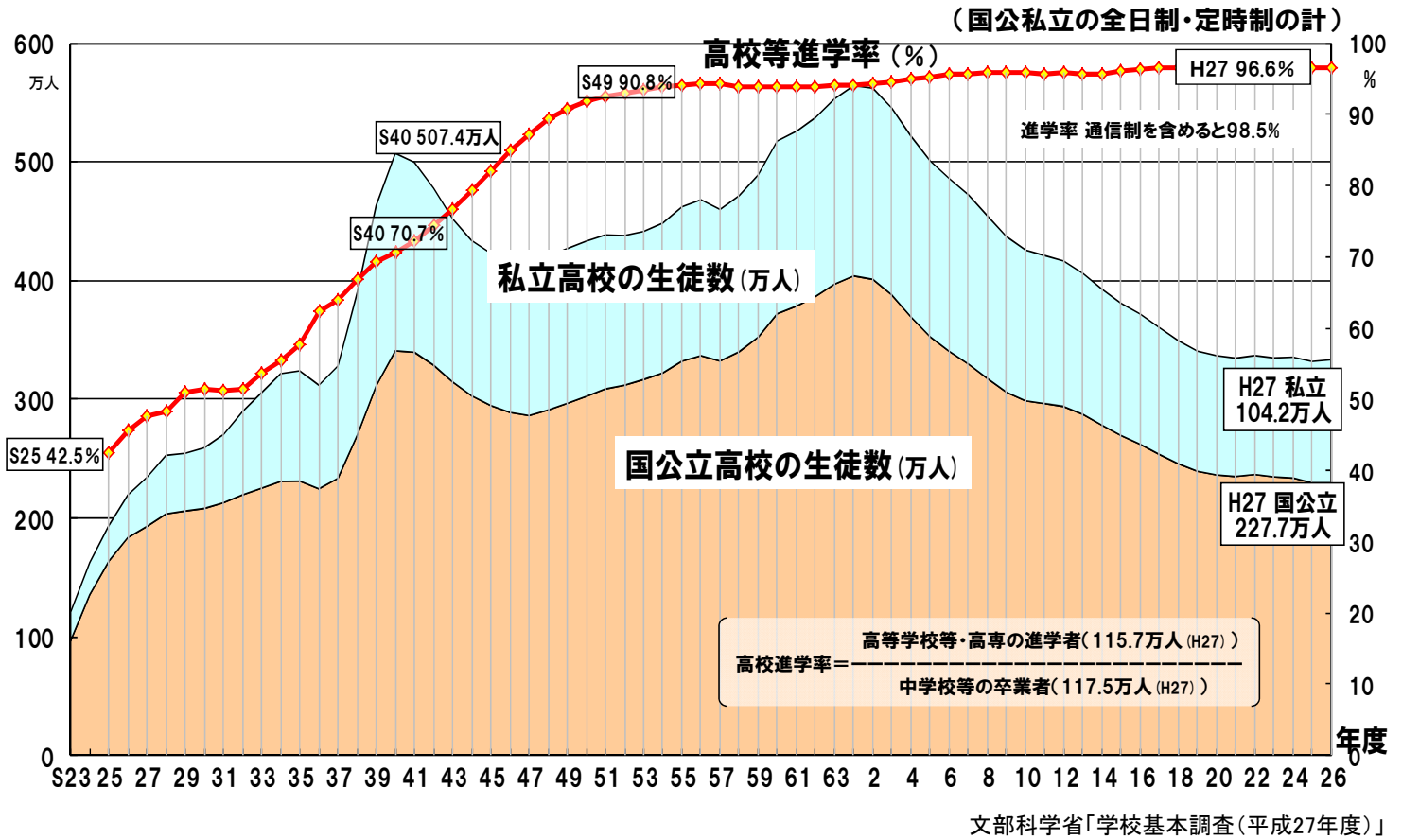
② 「コア」を構成する資質・能力

- 変化の激しい社会にあって、働く人々に求められる能力は高度化しており、身に付けた専門知識や技能がすぐに陳腐化したり、新たな知識・技能の習得を次々に迫られたりするなど、求められる対応のスピードも速くなっている。
- 一方、求められる知識・技能の変化が激しいからこそ、誰にとっても、生涯にわたって学び続けることの必要性がますます大きくなり、そのための基盤となる力を身に付けることが、改めて重要となっている。さらに、どのような職業においても共通に求められる汎用的能力の基礎となる力や、市民社会の形成者として求められる能力等は、近い将来職業人となり、また、全員が主権者となる高校生が確実に身に付けることが必要である。
- 高等学校は、進学や就職といった生徒の進路にかかわらず、中学校卒業後のほぼ全ての者が、社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付けるとともに、自立に向けた準備期間を提供することのできる最後の教育機関となる。
- 社会で自立し、社会に参画・貢献していく人材の育成を推進していく観点からは、「確かな学力」を構成する「学力の三要素」とともに、特に、次の力を、「コア」を構成する資質・能力の重要な柱として重視していくべきと考える。
 - ・ 社会・職業への円滑な移行に必要な力
 - ・ 市民性（市民社会に関する知識理解、社会の一員として参画し貢献する意識など）
- さらに、「コア」を構成する資質・能力としては、これらの柱を更に具体化したもの等として、以下のような資質・能力を挙げることができる。
 - ・ 言語を活用して批判的に考える力、分かりやすく説明する力、議論する力
 - ・ 新たな価値観や考え方を創り出す力やものづくり力などを含めた「創造力」
 - ・ 多様な他者の考えや立場を理解する力や、相手の話を聴く力、コミュニケーション力などを含めた「人間関係形成力」
 - ・ 自ら課題に挑戦していく力などを含めた「主体的行動力」
 - ・ 今後の自分自身の可能性を含めて自らを肯定的に理解するとともに、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする「自己理解・自己管理能力」
 - ・ 生徒が将来の進路を決定するために必要な「勤労観・職業観」、労働者としての権利・義務の理解など社会的・職業的自立の上での基礎的・基本的な知識・技能
 - ・ 社会の発展に寄与する意識・態度などの「公共心」
 - ・ 社会奉仕の精神、他者への思いやり
 - ・ 健康の保持増進のための実践力



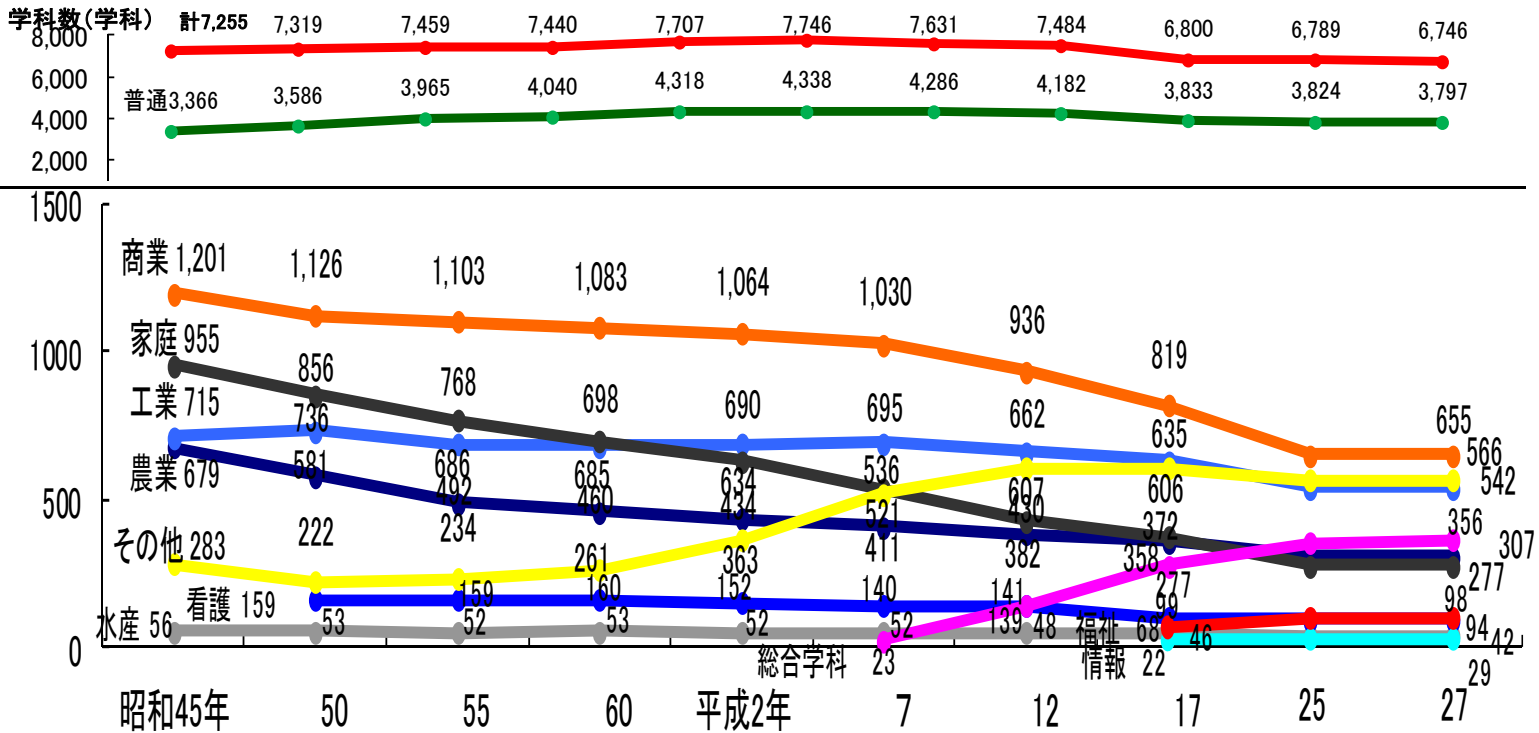
高等学校等への進学率・高等学校在籍者数[推移]

高等学校等への進学率は着実に向上し、昭和49年度に90%を超えた



180

高等学校の学科数(学科別)[推移]



※ 全日制・定時制のみ
 ※ 学科数について、同一の学科が全日制・定時制の両方に設置されている場合は1として計上。
 ※ 「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。

文部科学省「学校基本調査(平成27年度)」

学科別生徒数・学科数・学校数（平成27年度）

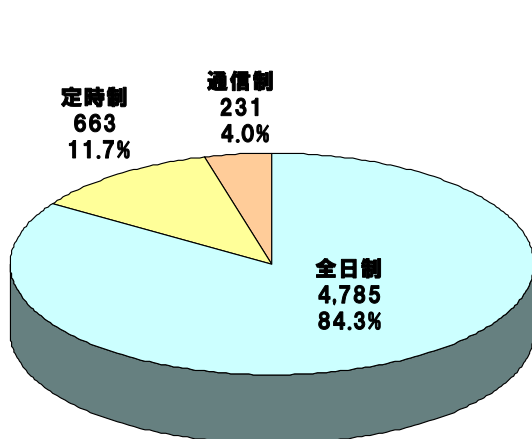
区分	生徒数 (人)	比率 (%)	当該学科を置く 学校数(延べ数)	単独学科 学校数	
合計	3,309,613		6,746	3,541	
職業学科 (専門高校)	小計	618,826	18.7	2,021	609
	農業	83,040	2.5	309	127
	工業	254,524	7.7	537	273
	商業	202,308	6.1	636	176
	水産	9,193	0.3	42	20
	家庭	42,230	1.3	277	6
	看護	14,756	0.4	94	6
	情報	3,130	0.1	28	0
	福祉	9,645	0.3	98	1
普通科	2,409,432	72.8	3,797	2,625	
その他専門学科	105,300	3.2	566	41	
総合学科	176,055	5.3	362	266	

※ 全日制・定時制のみの統計である(通信制は含まれない)。

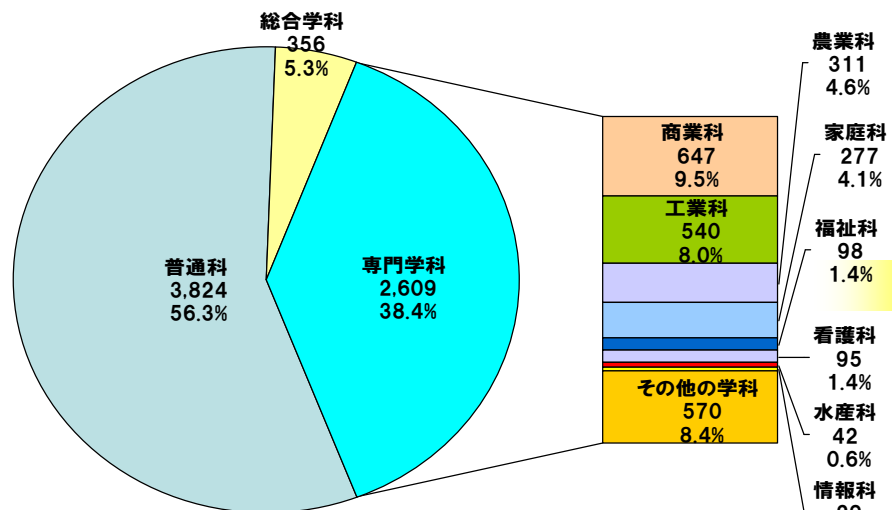
※ 「当該学科を置く学校数」欄は、複数学科を置く学校について、それぞれの学科に計上した延べ数である。

出典：文部科学省「学校基本調査(平成27年度)」

課程別・学科別学校数(平成27年度) [内訳]



課程別学校数



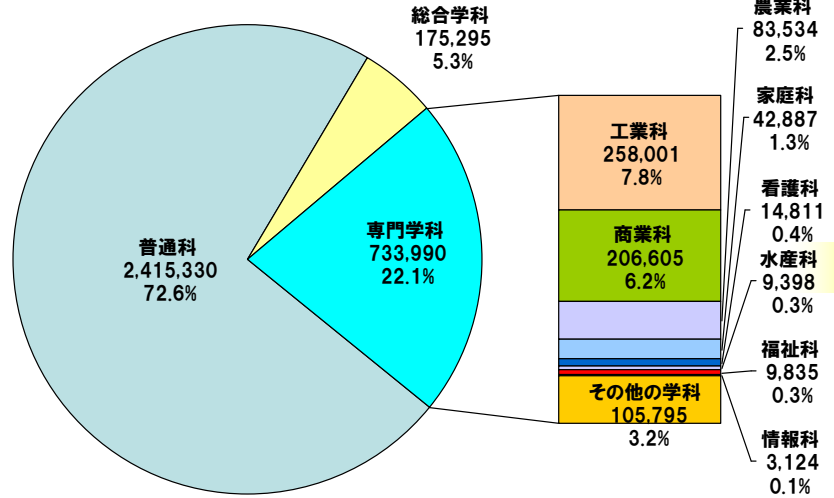
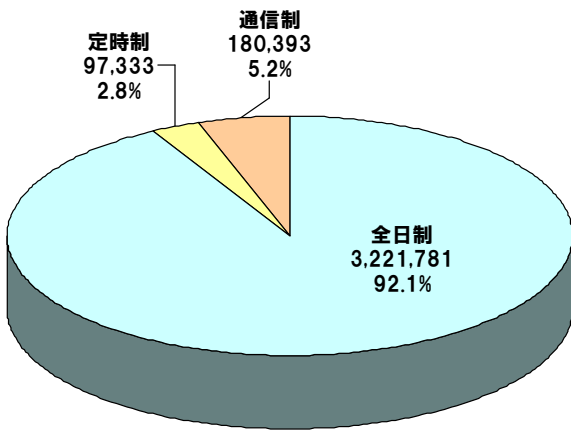
学科別学校数(全日制・定時制の本科)

全日制課程：通常の課程、修業年限3年
 定時制課程：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程、修業年限3年以上
 通信制課程：通信による教育を行う課程、修業年限3年以上

※一つの学校が2つ以上の学科を持つ場合は、それぞれの学科について、重複して計上。

※一つの学校が2つ以上の課程を併置している場合は、それぞれの課程について、重複して計上。

課程別・学科別生徒数(平成27年度) [内訳]

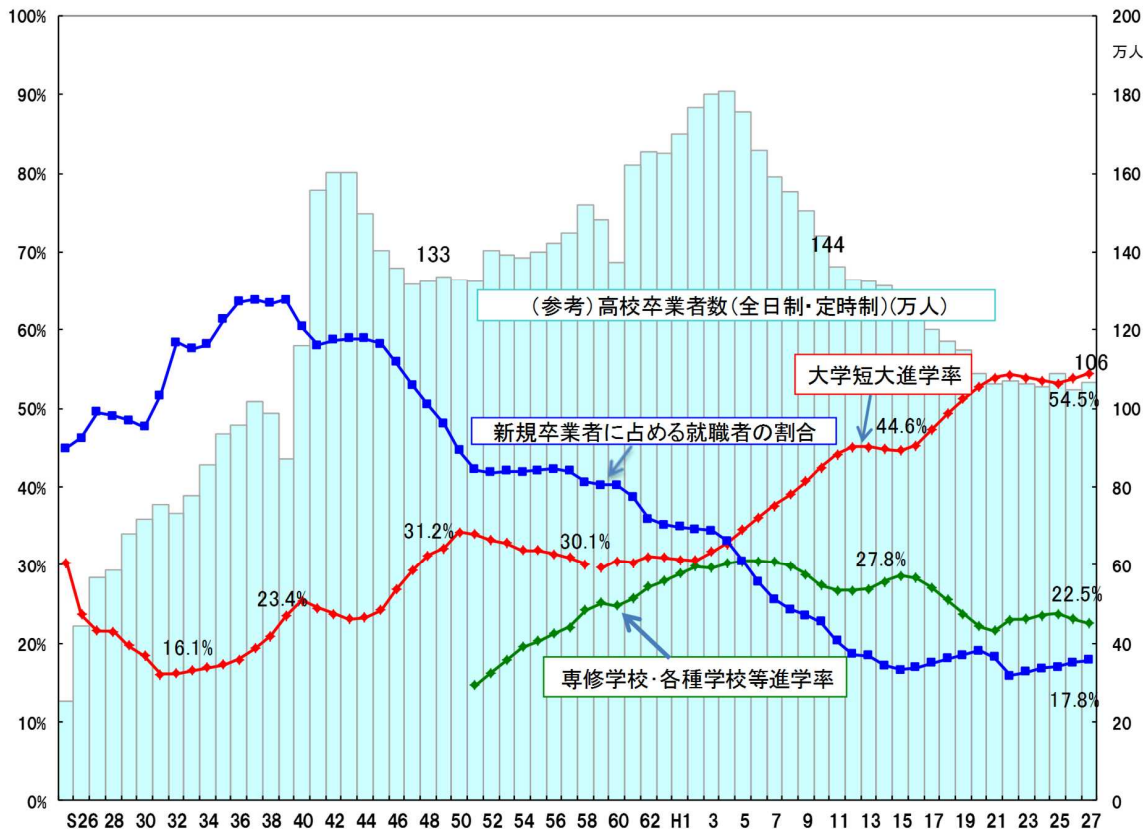


課程別生徒数

学科別生徒数(全日制・定時制の本科)

- 全日制課程：通常の課程、修業年限3年
- 定時制課程：夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程、修業年限3年以上
- 通信制課程：通信による教育を行う課程、修業年限3年以上

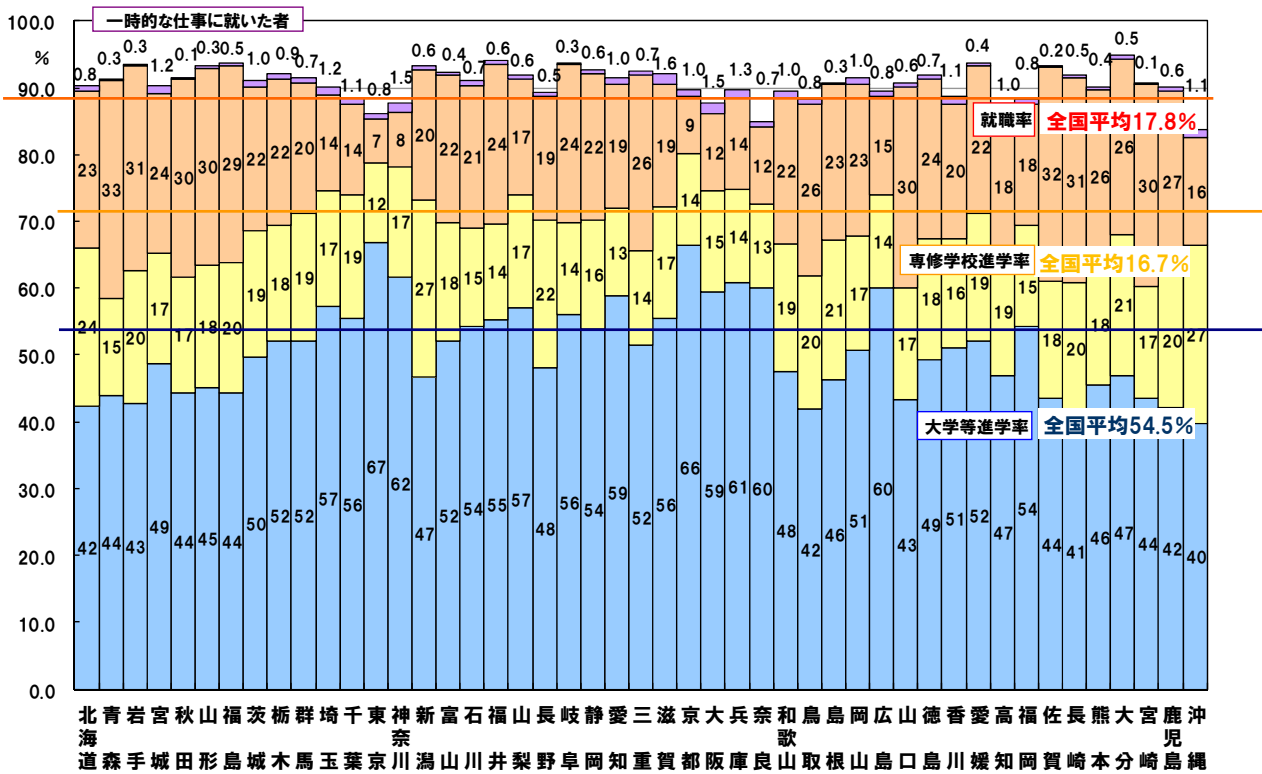
高等学校卒業生の進路 [推移]



「大学短大進学率」は、昭和58年度以前は通信制への進学を除いており、厳密には59年度以降と連続しない

高等学校の現役進学率・就職率 [都道府県比較]

(H27年3月の卒業生)



科目履修のイメージ(現状)

(参考)主に大学への進学を希望する生徒が多い普通科(文系)の履修イメージ(現状)

必修 学校が定める必修 学校設定 専門 選択

年	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	総合	単位数
1	国語総合 ⑤		現代社会 ②	数学Ⅰ ③ 数学Ⅱ ① 数学A ①	物理基礎 ② 化学基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ③ 英語表現Ⅰ ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ①	①	31
2	現代文B ② 古典B ③	世界史B ③ 日本史B/地理B ③		数学Ⅱ ③ 数学A ① 数学B ②	生物基礎/地学基礎 ②	体育 ② 保健 ①		コミュ英語Ⅱ ④ 英語表現Ⅱ ②		社会と情報 ①	①	30
3	現代文B ③ 古典B ③	世界史B ③ 日本史B/地理B ③	倫理/政治経済 ②	数学Ⅱ ② 数学B ②	生物基礎/物理基礎演習/化学基礎演習 ①	体育 ②		コミュ英語Ⅲ ④ 英語表現Ⅱ ②			①	29
1	国語総合 ⑤	地理A ②	倫理 ②	数学Ⅰ ③ 数学A ②	生物基礎 ② 地学基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ/工芸Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ⑤		情報の科学 ②	①	32
2	現代文B ② 古典B ②	世界史A ②	政治・経済 ②	数学Ⅱ ④ 数学B ②	物理基礎 ③ 化学基礎 ②	体育 ② 保健 ①	音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ/工芸Ⅱ ②	コミュ英語Ⅱ ⑤	家庭基礎 ②		①	32
3	現代文B ③ 古典B ④	世界史A ③ 日本史B/地理B ④	国語探究/世界テーマ史/人文地理/英語特講 ①	解析基礎 ③	物理/化学/生物/地学 ④	体育 ③		コミュ英語Ⅲ ⑤ 国語探究/世界テーマ史/人文地理/英語特講 ①			①	31
1	国語総合 ⑤		現代社会 ②	数学Ⅰ ③ 数学A ②	物理基礎 ② 生物基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ③ 英語表現Ⅰ ③		社会と情報 ②	①	31
2	現代文B ② 古典B ③	世界史B/日本史B ③ 世界史A/日本史A ②		数学Ⅱ ④ 数学B ②	化学基礎 ② 生物基礎 ①	体育 ③ 保健 ①		コミュ英語Ⅱ ④ 英語表現Ⅱ ②	家庭基礎 ②		①	31
3	現代文B ③ 古典B ③	古典A/物質と生命の科学 ③ 世界史B/日本史B ④ 世界研究/日本研究/数学探究 ③	政治・経済 ②	数学探究A/世界研究/日本研究 ③ 数学探究B/フードデザイン/総合英語 ②	物質と生命の科学/古典A ③	体育 ②		コミュ英語Ⅲ ⑤ 英語表現Ⅱ ②			②	31

年	国語		地理歴史		公民	数学			理科		保健体育		芸術	外国語		家庭	情報	総合	選択	単位			
1	国語総合 ⑤		世界史A ②		現代社会 ②	数学I ③	数学II ①	数学A ②	物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/美術I/書道I ②	コミュ英語I ④	英語表現I ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ②	①	1	31	0	32	
4	現代文B ②	古典B ③	日本史/地理A/地理B ②	世界史B/音II/美II/書II/家庭研究/発展コミュ ②	現代社会 ②	数学II ④	数学B ②	6	化学基礎/地学基礎 ②	生物研究 ①	体育 ②	保健 ①	音II/美II/書II/世界B/家庭研究/外国語発展コミュ ②	コミュ英語II ④	英語表現II ②	家庭研究/外国語発展コミュ/音II/美II/書II/世界B ②	社会と情報 ②	①	1	30	2	32	
3	現代文B ③	古典B ③	世界史B/日本史B/地理B ⑤	日本研究/地理研究/発展数学ほか ②	政治・経済 ③	数学研究 ④	発展数学/世界研究/日本研究/地理研究ほか ②	4	生物探究 ②	化学研究/地学研究②	体育 ②		音II/美II/書II/世界研究/日本研究/地理研究/発展数学 ②	コミュ英語III ③	英語表現II ②			①	1	30	2	32	
5	国語総合 ⑤		世界史B ④		現代社会 ②	数学I ③	数学A ②	5	物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/美術I/書道I ②	コミュ英語I ③	英語表現I ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ②	①	1	31	0	32	
2	現代文B ②	古典B ③	世界史B ④	日本史B/地理B ④		数学II ③	数学B ②	5	化学基礎 ②	生物 ②	体育 ②	保健 ①		コミュ英語II ④	英語表現II ②			①	1	31	0	32	
3	現代文B ②	古典B ③	世界史講読/日本史講読/地理講読 ④	倫理/音II/書II ②	政経/世界史課題探究③	数学課題探究 ③	数学B ②	5	化学課題探究 ②	生物 ②	体育 ②		音楽II/美術II/書道II/倫理 ②	コミュ英語III ④	英語表現II ②			①	1	30	2	32	
6	国語総合 ⑤		世界史B ③		現代社会 ②	数学I ②	数学II ①	数学A ②	5	物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/美術I/書道I ②	コミュ英語I ③	英語表現I ②	家庭基礎 ②	情報の科学 ①	①	1	31	0	31
2	現代文B ③	古典B ③	世界史B ③	日本史B/地理B ③		数学II ③	数学B ②	5	化学基礎 ②		体育 ③	保健 ①		コミュ英語II ③	英語表現II ③			①	1	31	0	31	
3	現代文B ②	古典B ③	世界探究/日本探究/地理探究 ④	世界探究/日本探究/地理探究/倫理・政・経 ④	世界探究/日本探究/地理探究/倫理・政・経 ④	数学II ③	数学B ②	5	化学総合 ②	物理総合/生物総合 ②	体育 ②			コミュ英語III ④	英語表現II ②			①	1	27	4	31	

(参考)主に大学への進学を希望する生徒が多い普通科(理系)の履修イメージ(現状)

#	国語		地理歴史		公民	数学			理科		保健体育		芸術	外国語		家庭	情報	総合	選択	単位			
	必修	学校設定	必修	学校設定	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修			
1	国語総合 ⑤		世界史A ②		現代社会 ②	数学I ③	数学II ①	数学A ①	5	物理基礎 ②	化学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/美術I/書道I ②	コミュ英語I ③	英語表現I ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ①	①	1	31	0	31
1	現代文B ②	古典B ②	世界史B/日本史B/地理B ②	世界史A/日本史A/地理A ②		数学II ③	数学III ①	数学A1 ①	数学B1 ①	6	化学 ②	生物基礎/地学基礎 ②	物理/生物/地学 ②	6	体育 ②	保健 ①		①	1	31	0	31	
3	現代文B ②	古典B ②	世界史B/日本史B/地理B ②			数学III ⑤	数学B ②	7	化学 ④	物理/生物/地学 ④	8	体育 ②			コミュ英語III ④	英語表現II ②			①	1	30	0	30
2	国語総合 ⑤		地理A ②		倫理 ②	数学I ③	数学A ②	5	生物基礎 ②	地学基礎 ②	4	体育 ③	保健 ①	音楽I/美術I/書道I/工芸I ②	コミュ英語I ⑤		情報の科学 ②	①	1	32	0	32	
2	現代文B ②	古典B ②	世界史A ②		政治・経済 ②	数学II ④	数学B ②	6	物理基礎 ③	化学基礎 ②	5	体育 ②	保健 ①	音楽II/美術II/書道II/工芸II ②	コミュ英語II ⑤	家庭基礎 ②		①	1	32	0	32	
3	現代文B ②	古典B ②	日本史A ②	世界特講/日本特講/地理特講 ②		数学III ⑥			6	物理/化学/生物/地学 2科目 ⑧	8	体育 ③			コミュ英語III ⑤			①	1	31	0	31	
3	国語総合 ⑤		世界史A ②		現代社会 ②	数学I ③	数学A ②	5	物理基礎 ②	生物基礎 ②	4	体育 ③	保健 ①	音楽I/美術I/書道I ②	コミュ英語I ③	英語表現I ③		社会と情報 ②	①	1	31	0	31
2	現代文B ②	古典B ②	世界史A ②	地理B ②		数学II ④	数学B ②	6	化学基礎 ②	物理/生物 ②	6	体育 ③	保健 ①		コミュ英語II ③	英語表現II ②	家庭基礎 ②		①	0	31	0	31
3	現代文B ②	古典B ②	地理B ②			数学III ⑦			7	化学 ④	物理/生物 ④	8	体育 ②		コミュ英語III ④	英語表現II ②			②	2	31	0	31

年	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	総合	教科計	選択計	単位数	
1	国語総合 ⑤	世界史A ②		数学Ⅰ ③ 数学Ⅱ ① 数学A ②	物理基礎 ② 生物基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ④ 英語表現Ⅰ ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ②	①	1	32	0	32
2	現代文B ② 古典B ③	地理B ②	現代社会 ②	数学Ⅱ ④ 数学B ②	化学基礎 ② 物理/生物 ②	体育 ② 保健 ①		コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅱ ②		社会と情報 ②	①	1	32	0	32
3	現代文B ② 古典B ②	地理B ④	現社研究/発展数学/数学演習 ②	数学Ⅲ/数学探究 ⑤ 発展数学/数学演習/現社研究②	化学 ④ 物理/生物 ④	体育 ②		コミュ英語Ⅲ ④ 英語表現Ⅱ ②			①	1	30	2	32
1	国語総合 ⑤		現代社会 ②	数学Ⅰ ③ 数学A ②	物理基礎 ② 生物基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ③ 英語表現Ⅰ ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ②	①	1	32	0	32
2	現代文B ② 古典B ②	世界史A ② 日本史B/地理B ③		数学Ⅱ ④ 数学B ②	化学基礎 ② 物理/生物 ③	体育 ② 保健 ①		コミュ英語Ⅱ ④ 英語表現Ⅱ ②			①	1	32	0	32
3	現代文B ② 古典B ②	日本史B/地理B ③		数学Ⅲ ⑥	化学 ③ 物理/生物 ③ 物課題探求/生物課題探求②	体育 ②		コミュ英語Ⅲ ④ 英語表現Ⅱ ②			①	1	32	0	32
1	国語総合 ⑤		現代社会 ②	数学Ⅰ ② 数学Ⅱ ① 数学A ②	物理基礎 ② 生物基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ③ 英語表現Ⅰ ②	家庭基礎 ②	情報の科学 ①	①	1	31	0	31
2	現代文B ② 古典B ②	世界史A/世界B ② 日本史B・地理B②/日本史A・地理A②		数学Ⅱ ③ 数学Ⅲ ① 数学B ②	化学基礎 ② 物理/生物 ③	体育 ③ 保健 ①		コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅱ ②		情報の科学 ①	①	1	31	0	31
3	現代文B ② 古典B ②	世界史B/日本史B/地理B ③		数学Ⅲ ⑥	物理 ③ 化学 ④ 生物 ③	体育 ②		コミュ英語Ⅲ ③ 英語表現Ⅱ ②			①	1	31	0	31

(参考)主に就職を希望する生徒が多い普通科の履修イメージ(現状)

必履修 学校が定める必履修 学校設定 専門 選択

年	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	総合	教科計	選択計	単位数		
1	国語総合 ⑤	世界史A ②		数学基礎① 数学Ⅰ ③ 数学A ②	科学と人間生活 ②	体育 ② 保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ ②	英語基礎 ① コミュ英語Ⅰ ③	家庭総合 ②	社会と情報 ②	①	1	29	0	29	
1	国語表現 ① 現代文B ② 古典B ②		現代社会 ②	数学Ⅱ ③ 数学B ②	化学基礎 ③	体育 ② 保健 ①	音楽Ⅱ/美術Ⅱ ②	コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅰ ③	家庭総合 ②		①	1	29	0	29	
3	国語表現 ② 現代文B ② 発展現代文 ② 古典B/化学 ③	日本史B/地理B ④		数学Ⅱ ② 総合数学 ③	生物基礎 ③ 古典B/化学 ③	体育 ③		コミュ英語Ⅱ ② 英語総合 ②			①	1	26	3	29	
1	国語総合 ④	地理A ②	現代社会 ②	数学Ⅰ ④	生物基礎 ③	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/書道Ⅰ/美術Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ③	家庭総合 ②	社会と情報 ②	①	1	29	0	29	
2	現代文B ② 古典B ② 国表現基礎/数A/物基礎/英総合/情報処理②	世界史B ④		数学Ⅱ ③ 国表現基礎/数A/物基礎/英総合/情報処理②	化学基礎 ③ 国表現基礎/数A/物基礎/英総合/情報処理②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅱ/書道Ⅱ/美術Ⅱ ②	コミュ英語Ⅱ ④ 国表現基礎/数A/物基礎/英総合/情報処理②	家庭総合 ②	国表現基礎/数A/物基礎/英総合/情報処理②	①	1	27	2	29	
3	現代文B ③ 古典B ② 国表現現用/世研究/数Bほか 2教科④	日本史B ④ 国表現現用/世研究/日研究/数Bほか 2教科④	政治・経済 ②	数学Ⅱ ③ 国表現現用/世研究/日研究/数Bほか 2教科④	科学と人間生活 ③ 数表物理/数表化学/数表生物ほか 2教科④	体育 ③	音楽Ⅲ/書道Ⅲ/美術Ⅲほか 2教科④	コミュ英語Ⅱ ② 英語会話② 英文購読ほか 2教科④	家庭総合研究ほか 2教科④	基礎PC技能ほか 2教科④	①	1	25	4	29	
1	国語総合 ⑤		現代社会 ②	数学Ⅰ ④	科学と人間生活 ② 地学基礎 ③	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/書道Ⅰ/美術Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ④	家庭基礎 ③		①	1	30	0	30	
2	現代文B ③ 古典A ③	日本史A ③		数学Ⅱ ④	生物基礎 ③ 物理基礎/ビジネス実務/子どもの発達と保育②	体育 ③ 保健 ①		コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅰ ②		社会と情報 ②	①	1	28	2	30	
3	現代文B ③ 国語表現 ③	世界史A ③ 地理A ③		数学A ② 数学B/ビジネス実務 ②	化学基礎 ③	体育 ③		コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅱ/情報処理/簿記/生活と福祉 ④			①	1	24	6	30	
1	国語総合 ④		現代社会 ②	数学Ⅰ ③ 数学A ②	化学基礎 ② 生物基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	音楽Ⅰ/書道Ⅰ/美術Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ⑤	家庭基礎 ②	社会と情報 ②	①	0	30	0	30	
2	現代文B ③ 古典A ③	世界史A/日本史A ② 世界史B/日本史B ④		数学Ⅱ ② 数学B/音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ ②	生物 ② 地学基礎 ②	体育 ③ 保健 ①	数学B/音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ ②	コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅰ ②			①	1	28	2	30	
3	現代文B ③ 古典B ② 現代文探究/国語基礎/古典探究②	世界史B/日本史B ④ 世界史探究/日本史探究②		数学Ⅱ ② 数探究/看護数学/現社探究/書道Ⅰ/外②	生物探究/数探究/看護数学/現社探究/書道Ⅰ/外②	体育 ③		コミュ英語Ⅱ ④ 英語表現Ⅰ ② 実践英語/実践英会話/生物探究/現社探究/外②	実践英語/実践英会話/生物探究/現社探究/外②	実践英語/実践英会話/生物探究/現社探究/外②	①	0	2	28	2	30

年	国語		地理歴史		公民		数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭		情報		総合		教科 単位数	一般 単位数				
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数						
5	総合国語 ⑤		世界史A ②				数学I ③	数学A ③	化学基礎 ③	地学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/書道I/美術I/工芸I ②	コミュ英語I ③	英語表現I ②							0	①	1	30	0	30	
	現代文B ②	古典B ②	日本史B ④		現代社会 ②		数学II ④		生物基礎 ③		体育 ③	保健 ①			コミュ英語II ④	英語表現II ②	家庭基礎 ②						0	①	1	30	0	30
	現代文B ②	古典B ②	世界史B/日本史B/日本史研究 ④		政治・経済 ②		数学B/基礎数学/実用数学/総合国語演習ほか ②		生物/基礎化学演習/基礎生物演習 ④		体育 ②				コミュ英語III ④	英語表現II ②			社会と情報 ②				0	①	1	25	5	30
6	国語総合 ④		世界史A ②				数学I ③	数学A ②	生物基礎 ②	化学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/書道I/美術I ②	コミュ英語I ④			家庭基礎 ②		社会と情報 ②				0	①	1	30	0	30
	現代文B ③	古典A ②	日本史B/地理B ④				数学II ②		生物 ④		体育 ③	保健 ①	音楽II/書道II/美術II ②	コミュ英語II ④			子ども版読書の発達と保活/ビジネス基礎 ②						0	①	1	26	4	30
	現代文B ③				現代社会 ③		科学④/英会話②/倫理②	数学II ②		地学基礎 ②	化学④/英会話②/倫理②	体育 ②				英語表現I ③			ライフスキル/生活と福祉/情報処理 ③				0	①	1	16	14	30
7	国語総合 ④		世界史A ②		現代社会 ②		数学I ③	数学A ②	科学と人間生活 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/書道I ②	コミュ英語I ③	英語表現I ②					社会と情報 ②				0	①	1	29	0	29
	現代文B ②	古典B ②	日本史B/地理B ③				数学II ④		生物基礎 ②		体育 ②	スポーツII ③	保健 ①	音楽II/書道II ②	コミュ英語II ③	英語表現II ⑤	家庭基礎 ②						0	②	2	30	0	30
	現代文B ③	古典B ②	日本史B/地理B ③		政治・経済 ②		数学総合基礎I ②		生物 ③		体育 ②	スポーツII ②		0	コミュ英語III ③	英語表現II ②	英会話/フッション造形 ③	フードデザイン ②	英会話/フッション造形 ③					0		0	26	3

(参考)専門学科の履修イメージ(現状)

必修
学校が定める必修
学校設定
専門
選択

※ 下記の共通科目以外にも専門科目を履修している
 ※ 水色部分は、専門科目を共通科目に代替して履修しているもの

年	国語		地理歴史		公民		数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭		情報		総合		教科 単位数	一般 単位数			
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数					
農業	国語総合 ④		地理A ②				数学I ④		化学基礎 ②		体育 ②	保健 ①			コミュ英語I ③		家庭基礎 ②		農業情報処理 ②				0	①	0	22	
	現代文B ②	国語表現/日本A/教I/化学/コミュ英語/専門科目 ②	世界史A ②		日本史A/国語表現/教I/化学/コミュ英語/専門科目 ②		数学A ②		教II/日本A/国語表現/化学/コミュ英語/専門科目 ②	生物基礎 ②	化学/国語表現/日本史A/教I/コミュ英語/専門科目 ②	体育 ②	保健 ①	音楽I/美術I/書道I ②	英語表現I ③	コミュ英語I/国語表現/日本史A/教I/化学/専門科目 ②					課題研究 ②		0	②	2	20	
	現代文B ③	国語表現/政経/教I/生物/専攻/コミュ英語/専門科目 ②			現代社会 ②		政経/国語表現/教I/生物/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	基礎数理演習 ②		教II/国語表現/国語表現/生物/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	科学と人間生活 ②	生物/国語表現/政経/教I/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	体育 ③		音楽II/国語表現/政経/教I/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	英語会話 ②	コミュ英語II/国語表現/教I/生物/専攻/専門科目 ②					課題研究④		0	④	4	20
工業	国語総合 ③				現代社会 ②		数学I ③		科学と人間生活 ②	物理基礎 ②	体育 ②	保健 ①	音楽I/美術I/書道I ②	コミュ英語I ③					情報技術基礎 ②				0		0	22	
	国語総合 ②		日本史A ②				数学II ③		化学基礎 ②		体育 ②	保健 ①			コミュ英語II ②		家庭基礎 ②						0		0	16	
	国語表現 ③		世界史A ③				数学A/数学B ②		物理/化学 ③		体育 ③				コミュ英語II ②						課題研究 ③		0		3	19	
商業	国語総合 ④				現代社会 ②		数学I ③				体育 ②	保健 ①	音楽I/美術I/書道I/工芸I ②	コミュ英語I ③					情報処理 ④				0		0	21	
	現代文B ②	国語表現/日本A/教I/化学/コミュ英語/専門科目 ②	世界史A ②		日本史A/国語表現/教I/化学/コミュ英語/専門科目 ②		数学A ②		教II/日本A/国語表現/化学/コミュ英語/専門科目 ②	科学と人間生活 ②	生物/国語表現/政経/教I/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	体育 ②	保健 ①	0	コミュ英語II ②	英語会話 ②	家庭総合 ②				課題研究 ②		0	②	2	19	
	現代文B ②	国語表現/政経/教I/生物/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	日本史A ②		日本史A/国語表現/教I/化学/コミュ英語/専門科目 ②		数学II ③		教II/国語表現/国語表現/生物/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	生物基礎 ②	生物/国語表現/政経/教I/専攻/コミュ英語/専門科目 ②	体育 ③		0	コミュ英語III ③	家庭総合 ②				課題研究 ②		0	②	2	21		
水産	国語総合 ②				現代社会 ②		数学I ③		科学と人間生活 ②	体育 ③	保健 ①	4	音楽I/書道I ②	コミュ英語I ③	家庭総合 ②		海洋情報技術 ②						0		0	22	
	国語総合 ①		日本史A/地理A ②				数学I ①		物理基礎 ③		体育 ②	保健 ①			コミュ英語I ①		英会話 ②	家庭総合 ②						0		0	15
	国語表現 ②		世界史A ②				数学II ②		生物基礎/化学基礎 ②		体育 ②				英語表現I ②						課題研究 ③		0		3	15	

種別	学年	国語		地理歴史		公民		数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭		情報		総合		総合 単位数	一般 単位数				
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択						
家庭	1	国語総合 ④		世界史A ②		現代社会 ②		数学Ⅰ ③		科学と人間生活 ②		体育③ 保健①		音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ		コミュ英語Ⅰ ③		家庭基礎 ②		生活産業情報 ②		0		0	24				
	2	現代文B ③	実用国語/音Ⅱ/簿記/地域生活 ②	世界史A ②		0		数学Ⅱ ②		生物基礎 ②		体育③ 保健①		実用国語/音Ⅱ/簿記/地域生活 ②		コミュ英語Ⅱ ③		0		生活産業情報 ②		0		2	20				
	3	現代文B ③		日本史A/地理A ②		政治・経済 ②		数学Ⅱ ②		生物総合/音Ⅲ/英語表現Ⅰ/簿記/生活産業情報 ②		体育③		0		コミュ英語Ⅱ ③		英語表現Ⅰ/生物総合/音Ⅲ/簿記/生活産業情報 ②		0		課題研究 ③		3		20			
看護	1	国語総合 ③		世界史A ②		0		数学Ⅰ ③		科学と人間生活 ②		体育③ 人体と看護①		音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ		コミュ英語Ⅰ ④		家庭基礎 ②		看護情報活用 ②		看護臨地実習①		1		25			
	2	国語総合 ②	現代文B ①	0		現代社会 ②		数学Ⅱ ① 数学A ③		化学基礎 ② 生物基礎 ②		体育② 人体と看護①		0		コミュ英語Ⅱ ④		0		0		看護臨地実習③		3		23			
	3	現代文B ③		日本史A ②		0		数学Ⅱ ③		化学/生物 ④		体育②		0		英語表現Ⅰ ③		0		0		看護臨地実習⑥		6		23			
情報	1	国語総合 ②		0		現代社会 ②		数学Ⅰ ③ 数学A ⑤		科学と人間生活 ②		体育③ 保健①		音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ		コミュ英語基礎 ③		家庭基礎 ②		情報産業と社会 ②		0		0	24				
	2	国語総合 ②	国語表現Ⅰ/情報科学/専門 ②	世界史A ②		政経/物理基礎/専門 ②		数学Ⅱ ④		物理基礎/政経/専門 ②		体育③ 保健①		0		コミュ英語Ⅰ ③		国語表現Ⅰ/情報科学/専門 ②		0		0		4		19			
	3	現代文A ③	国語表現Ⅱ/音Ⅲ/生物基礎Ⅱ/英語表現Ⅱ/専門 ②-④	日本史A/地理A ②		0		数学Ⅱ⑥ もしくは数学Ⅱほか ②×3		物理基礎/化学基礎 ②		体育②		0		英語会話 ②		英語表現Ⅱ/国語表現Ⅱ/数学Ⅲ/生物基礎-専門 ②		0		0		課題研究③		3		20	
福祉	1	国語総合 ③		0		現代社会 ②		数学Ⅰ ③		科学と人間生活 ②		体育②		ここからからの理解 ①		音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ		コミュ英語基礎 ②		コミュ英語Ⅰ ①		家庭総合 ②		福祉情報活用 ②		①		1	23
	2	国語表現 ①		世界史A ②		0		数学A ②		生物基礎 ②		体育②		ここからからの理解 ①		0		コミュ英語Ⅰ ①		家庭総合 ②		0		介護総合演習①		1		14	
	3	国語表現 ②		地理A ②		0		0		0		体育③		0		0		コミュ英語Ⅰ ②		0		0		介護総合演習②		2		11	

種別	学年	国語		地理歴史		公民		数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭		情報		総合		総合 単位数	一般 単位数	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択			
理数	1	国語総合 ⑥		世界史A ②		0		理数数学Ⅰ ⑥		理数化学 ② 理数生物 ②		体育③ 保健①		音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ		コミュ英語Ⅰ ④ 英語表現Ⅰ ②		0		情報の科学 ②		①		1	33	
	2	現代文B ②	古典B ②	0		0		0		理数化学 ② 理数生物 ② 理数物理/理数地学 ④		体育② 保健①		0		コミュ英語Ⅰ ④ 英語表現Ⅱ ②		家庭基礎 ②		0		①		1	24	
	3	現代文B ②	古典B ②	選択履修④ ②×1以上 ④×2以上	地理A ②	選択履修④ ②×1以上 ④×2以上	倫理 ②	政経 ②	選択履修 ②×1以上 ④×2以上	選択履修④ ②×1以上 ④×2以上	選択履修④ ②×1以上 ④×2以上	体育②		0		コミュ英語Ⅲ ③		英語表現Ⅱ ②×1以上 ④×2以上		0		①		1	33	
体育	1	国語総合 ④		0		現代社会 ②		数学Ⅰ ③		科学と人間生活 ②		体育③ 保健①		音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ		コミュ英語Ⅰ ④		家庭基礎 ②		社会と情報 ②		①		1	26	
	2	現代文B ②	古典B ②	読書/音Ⅱ/簿記/英語表現Ⅰ	日本史B ③		0		数学A ②		生物基礎 ② 化学基礎/マルチメディア探究 ②		体育③ 保健①		音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ		コミュ英語Ⅱ ③ 教養英語/教養国語ほか ②		0		マルチメディア探究/科学基礎 ②		①		1	23
	3	現代文B ③	古典B ②	選択履修⑤	世界史A ②	日本史B ②	選択履修 ⑥		選択履修 ⑥		選択履修 ⑥		体育②		0		コミュ英語Ⅲ ③		選択履修 ⑥		0		①		1	21
音楽	1	国語総合 ④		0		0		数学Ⅰ ③		科学と人間生活 ②		体育③ 保健①		音楽理論、演奏研究、ソルフェージュ、声楽、器楽、鑑賞研究 ②		コミュ英語Ⅰ ③ 英語表現Ⅰ ③		家庭基礎 ②		0		①		1	24	
	2	現代文B ②	古典B ②	世界史A ②		0		0		生物基礎 ②		体育② 保健①		0		コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅱ ②		0		情報の科学 ②		①		1	19	
	3	現代文B ②	古典B ②	地理A ③		現代社会 ②		0		0		体育②		0		コミュ英語Ⅱ ③ 英語表現Ⅱ ②		0		0		①		0	16	
美術	1	国語総合 ④		0		0		数学Ⅰ ②		物理基礎 ②		体育③ 保健①		構成、美術史 ②		コミュ英語Ⅰ ④ 英語表現Ⅰ ②		家庭基礎 ②		社会と情報 ②		①		1	25	
	2	現代文B ②	古典B ②	世界史A ②	日本史B ③	0		数学Ⅱ/構成 ②		化学基礎 ②		体育② 保健①		0		コミュ英語Ⅱ ④		0		0		①		1	21	
	3	現代文B ②	古典A/素描/構図/映像表現/鑑賞研究 ③	日本史B ③		現代社会 ②		数学Ⅱ/素描/構成/映像表現/鑑賞研究 ②		生物基礎 ②		体育②		0		コミュ英語Ⅲ ④ 英語表現Ⅱ/素描/構成/絵画/鑑賞研究 ②		0		0		①		1	23	
英語	1	国語総合 ⑤		世界史B ④		0		数学Ⅰ ③ 数学A ⑤		化学基礎 ②		体育③ 保健①		音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ		総合英語 ⑤		家庭基礎 ②		0		①		1	30	
	2	現代文B ②	古典B ②	日本史B/地理B ④		現代社会 ②		数学Ⅱ ③ 数学B ②		生物基礎 ②		体育② 保健①		0		0		0		0		①		1	21	
	3	現代文B ③	古典B ③	世界史探究/日本史探究/地理探究 ③		倫理/政治経済 ③		数学研究/物理発展/化学発展/生物発展/地学発展 ②×2		数学研究/物理発展/化学発展/生物発展/地学発展 ②×2		体育②		0		0		0		0		社会と情報 ②		①		1

(参考)総合学科の履修イメージ(現状)

年次	国語		地理歴史		公民		数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭		情報		総合		一般 単位数
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
1	国語総合④				現代社会②		数学Ⅲ③	数学A②	化学基礎②		体育③	保健①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ②		コミュ英語Ⅰ③	英語表現Ⅰ②	家庭基礎②		社会と情報②		産業社会と人間②		30
2	現代文②	選択履修	世界史A②	選択履修「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」の中から2科目を選択	選択履修		選択履修		選択履修「科学と人間生活」「生物基礎」「物理基礎」「地学基礎」の中から2科目を選択		体育②	保健①	選択履修		コミュ英語Ⅱ④	英語表現Ⅱ②	選択履修				①		30
3	現代文②	選択履修	世界史B②	選択履修「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」の中から2科目を選択	選択履修		選択履修		選択履修「科学と人間生活」「生物基礎」「物理基礎」「地学基礎」の中から2科目を選択		体育②	選択履修	選択履修		英語表現Ⅱ②		選択履修				②		30

(参考)学校設定科目等により学び直しを行う履修イメージ(現状)

年次	国語		地理歴史		公民		数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭		情報		総合		一般 単位数
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
1	国語基礎③		社会基礎②				数学基礎③		理科基礎②		体育③	保健①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ②		英語基礎③		家庭基礎②		社会と情報②		①		26
2	国語総合④		世界史A②				数学Ⅰ④		科学と人間生活②		体育②	保健①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ②		コミュ英語Ⅰ④						②		29
3	現代文②		日本史A②		現代社会②		数学A②		生物基礎②		体育②				コミュ英語Ⅱ③						②		29
1	基礎・教科 国語 ①	国語総合④	地理A②		現代社会②		基礎・教科 数学 ①	数学Ⅰ④	生物基礎③		体育③	保健①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ②		基礎・教科 英語 ①	コミュ英語Ⅰ③					①		28
2	現代文③	古典A②	世界史B④				数学Ⅱ④		物理基礎/化学基礎/地学基礎③		体育③	保健①	音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ②		コミュ英語Ⅱ④		家庭基礎②				①		29
3	現代文③	国語表現②/物理/化学/倫理ほか④	日本史B/地理研究/国語表現/倫理ほか④		政治・経済②	倫理/地理研究/国語表現ほか④	数学Ⅲ/日本B④	数学A/数学B/国語表現ほか④	物理基礎/化学基礎/生物/古典B③		体育②		音楽Ⅲ/美術Ⅲ/書道Ⅲ/国語表現/地理研究ほか④		コミュ英語Ⅱ④	英語表現/国語表現/地理研究ほか④				社会と情報②	①		28
1	国語総合④				現代社会③		数学基礎③	数学Ⅰ②	科学と人間生活②		体育③	保健①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ②		コミュ英語Ⅰ③	英語会話②	家庭基礎②		社会と情報②		①		28
2	現代文②	古典A②	世界史B②	日本史A/地理A②	倫理②+情報処理②/簿記④/英語理解④		数学Ⅰ②		生物基礎③	化学基礎/英語表現Ⅰ/フードデザイン/生活と福祉②		体育③	保健①	音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ②		コミュ英語Ⅱ②	英語表現Ⅰ/化学基礎/フードデザイン/生活と福祉②				①		28
3	現代文③	国語表現②+ファッション造形②/生物④/情報処理④	日本史A/地理A/異文化理解/フードデザイン②		政治・経済③		数学Ⅱ②		国語表現②+ファッション造形②/生物④/情報処理④		体育②		音楽Ⅲ/美術Ⅲ/書道Ⅲ③		コミュ英語Ⅱ②						①		22

生活・総合的な学習の時間ワーキンググループにおける審議の取りまとめ(総合的な学習の時間)〈抜粋〉

3. 資質・能力の育成に向けた教育内容の改善・充実

(1)構成の見直し

〈略〉

- 小・中学校においては、各教科等の特質に応じて育まれた見方・考え方を総合的に活用しながら、自ら問いを見いだし探究することのできる力を育成し、探究的な学習が自己の生き方に関わるものであることに気付くようにする。
- それを基盤とした上で、高等学校における総合的な学習の時間においては、各教科等の特質に応じて育まれる「見方・考え方」を総合的・統合的に活用することに加えて、自己の在り方生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら見方・考え方を組み合わせて統合させ、活用しながら、自ら問いを見いだし探究することのできる力を育成する。
- 自己のキャリア形成の方向性と関連付けるとい点においては、高等学校の専門教科における課題研究科目や、現在、新たに検討されている「理数探究(仮称)」においても同様の性格を持つ。総合的な学習の時間と課題研究科目、「理数探究(仮称)」との違いは、専門性を活かした職業につながる専門教科や、大学における学問分野につながっていく「理数探究(仮称)」の場合には、専門分野に向かっていく自己のキャリア形成と関連付けながら「見方・考え方」を統合させ、活用していくことを前提とした探究を行うのに対し、総合的な学習の時間では、特定の分野を前提とせず、実社会や実生活から自ら見いだした課題を探究していくことを通して自己のキャリア形成の方向性を見い出すことにつながっていくという違いがある。
- こうした観点から、高等学校におけるこれまでの「総合的な学習の時間」については、その名称についても見直すべきである。小・中学校における総合的な学習の時間とのつながりやそこからより探究的に発展したものであるという位置づけを考えると、例えば「総合的な探究の時間」あるいは「探究の時間」といった名称も考えられるところであるが、具体的な名称については、高等学校における各教科等の構成の見直しも踏まえて高等学校部会において決定することが適当である。

「産業社会と人間」 学習指導要領における記述

- ・ 現行の学習指導要領等における「産業社会と人間」に関する記述は以下のとおりとなっている。
- ・ 特別活動において、キャリア教育の意義が明確にされることも踏まえつつ、今回の改訂に合わせて見直すべき事項はあるか。

高等学校学習指導要領(平成21年3月) <抄>

第1章 総則

第2款 各教科・科目及び単位数等

5 学校設定教科

- (1) 学校においては、地域、学校及び生徒の実態、学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、上記2及び3の表に掲げる教科以外の教科(以下「学校設定教科」という。)及び当該教科に関する科目を設けることができる。この場合において、学校設定教科及び当該教科に関する科目の名称、目標、内容、単位数等については、高等学校教育の目標及びその水準の維持等に十分配慮し、各学校の定めるところによるものとする。
- (2) 学校においては、学校設定教科に関する科目として「産業社会と人間」を設けることができる。この科目の目標、内容、単位数等を各学校において定めるに当たっては、産業社会における自己の在り方生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒の主体的な各教科・科目の選択に資するよう、就業体験等の体験的な学習や調査・研究などを通して、次のような事項について指導することに配慮するものとする。
ア 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成
イ 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察
ウ 自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画の作成

第3款 各教科・科目の履修等

3 総合学科における各教科・科目の履修等

総合学科における各教科・科目の履修等については、上記1のほか次のとおりとする。

- (1) 総合学科においては、第2款の5の(2)に掲げる「産業社会と人間」をすべての生徒に原則として入学年次に履修させるものとし、標準単位数は2～4単位とすること。
- (2) 総合学科においては、学年による教育課程の区分を設けない課程(以下「単位制による課程」という。)とすることを原則とする。とともに、「産業社会と人間」及び専門教科・科目を合わせて25単位以上設け、生徒が多様な各教科・科目から主体的に選択履修できるようにすること。その際、生徒が選択履修するに当たっての指針となるよう、体系的や専門性等において相互に関連する各教科・科目によって構成される科目群を複数設けるとともに、必要に応じ、それら以外の各教科・科目を設け、生徒が自由に選択履修できるようにすること。
198

「産業社会と人間」 学習指導要領 解説 における記述

高等学校学習指導要領解説総則編(平成21年7月) <抄>

4 学校設定科目及び学校設定教科(第1章第2款の4及び5)

(4) 「産業社会と人間」

「産業社会と人間」は、平成5年の総合学科の創設に伴い、その原則履修科目とされた科目である。総合学科は、普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科であり、その教育課程における各教科・科目は、高等学校の必修履修科目、学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目により構成し、原則履修科目として「産業社会と人間」、情報に関する基礎的科目及び「課題研究」の3科目とすることが、平成5年3月に初等中等教育局長名の通知で示された。

総合学科における「産業社会と人間」は、人間としての生き方の探求、特に自己の生き方の探求を通して、職業を選択し、決定する場合に必要な能力と態度を養うとともに、将来の職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培うことや現実の産業社会やその中での自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を育成することをねらいとしている。このねらいを達成するため、各学校では、社会人や地域の有識者を講師とするなど地域との積極的な連携を図り、実習、見学、調査研究などの体験的な活動を取り入れた学習を展開してきている。また、「産業社会と人間」の学習は、自らの進路等を考慮した適切な各教科・科目の選択能力の育成にも大きな役割を果たしている。

このような自己の在り方生き方や進路について考察するとともにそれらを通して自らの進路等に応じて適切な各教科・科目を選択する能力を育成する学習は、高等学校において、どの学科でも重要な意義を有することから、平成11年の改訂において、学校設定教科に関する科目として「産業社会と人間」を設けることができることを明示したものである。

各学校において、学校設定教科に関する科目として「産業社会と人間」を設ける場合、目標の設定に当たっては、産業社会における自己の生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う観点に留意する必要がある。また、生徒が自己の進路に応じ主体的に各教科・科目の選択ができるように、就業体験や見学等の体験的な学習、調査・研究や発表・討論などの生徒の主体的な活動を重視した学習方法を積極的に取り入れ、特に次のような事項を指導するよう配慮することを総則において示しているものである。
199

- ア 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成
- イ 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察
- ウ 自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画の作成

この「産業社会と人間」の指導事項については、平成5年2月の高等学校教育の改革の推進に関する会議の第四次報告において、職業と生活、我が国の産業と社会の変化及び進路と自己実現の3項目で構成し、具体的には次のようなことを指導することが提言された。

① 職業と生活

各種企業や施設等の見学及び就業体験やボランティア活動、卒業生や職業人等との対話、発表や討論等を通して、職業の種類や特徴、職業生活などについて理解するとともに、勤労の意義について考察し、職業人として必要とされる能力・態度、望ましい勤労観・職業観を養うための学習を行うこと。

② 我が国の産業と社会の変化

先端的な工場や情報関連企業等の見学、技術者や海外勤務者等の講話、調査研究や発表・討論等を通して、我が国の科学技術の発達や産業・経済の発展・変化について理解し、それがもたらした情報化、国際化等の社会の変化、人々の暮らしへの影響について考察するための学習を行うこと。

③ 進路と自己実現

発表・討論、自己の学習計画の立案等を通して、自己の能力・適性、興味・関心等と各種職業に求められる資質・能力を踏まえ、自己の将来の生き方や進路について考察すること。これらの項目は、職業と生活が学習指導要領に示されたアの事項、我が国の産業と社会がイの事項、進路と自己実現がウの事項とそれぞれ対応するものと考えられ、各学校においては、この報告の内容を十分配慮し

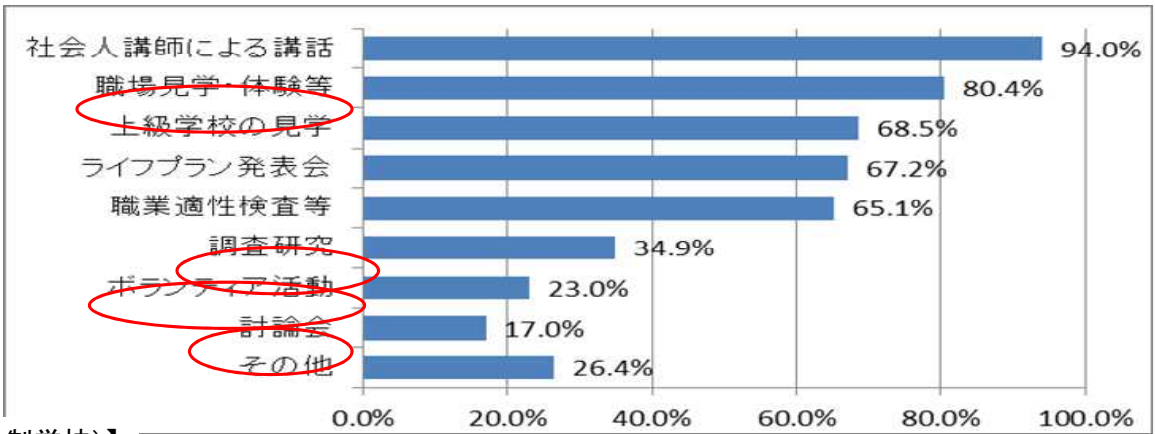
「産業社会と人間」を開設し特色ある取組をしている例

都道府県	学校名	課程	学校の特色
青森県	A総合高校	定時制	<p>【科目の目標】 自己の生き方在り方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力の育成を図る。 また、産業社会での自己の在り方・生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。</p> <p>【特色】 ・1年次で履修する「産業社会と人間」を『キャリアデザイン基礎』と位置づけ、2・3年次で履修する『キャリアデザイン』（総合的な学習の時間）と合わせて、キャリア教育に重点を置き、「生き抜く力」の育成を図っている。</p>
東京都	B総合高校	全日制	<p>【科目の目標】 I 自己の生き方を探求させるという観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通じて、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養成する。 II 現実の産業社会やその中での自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。</p> <p>【特色】 ・生徒は、「産業社会と人間」で自らを見つめ、ライフプランを作成し、それを実現するための「自分だけの時間割」で高校生活を送る</p>

「産業社会と人間」の年間指導計画における活動

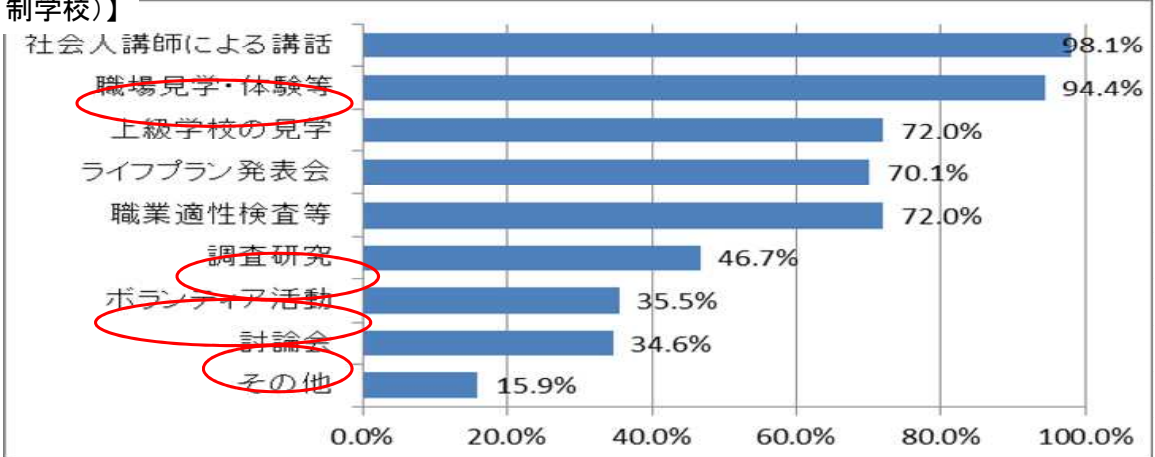
○ 「その他」以外の全ての項目の割合が減少。特に「職場見学・体験等」「調査研究」「ボランティア活動」「討論会」は10%以上減少

【平成19年調査】



n=235

【平成11年調査(公立全日制学校)】

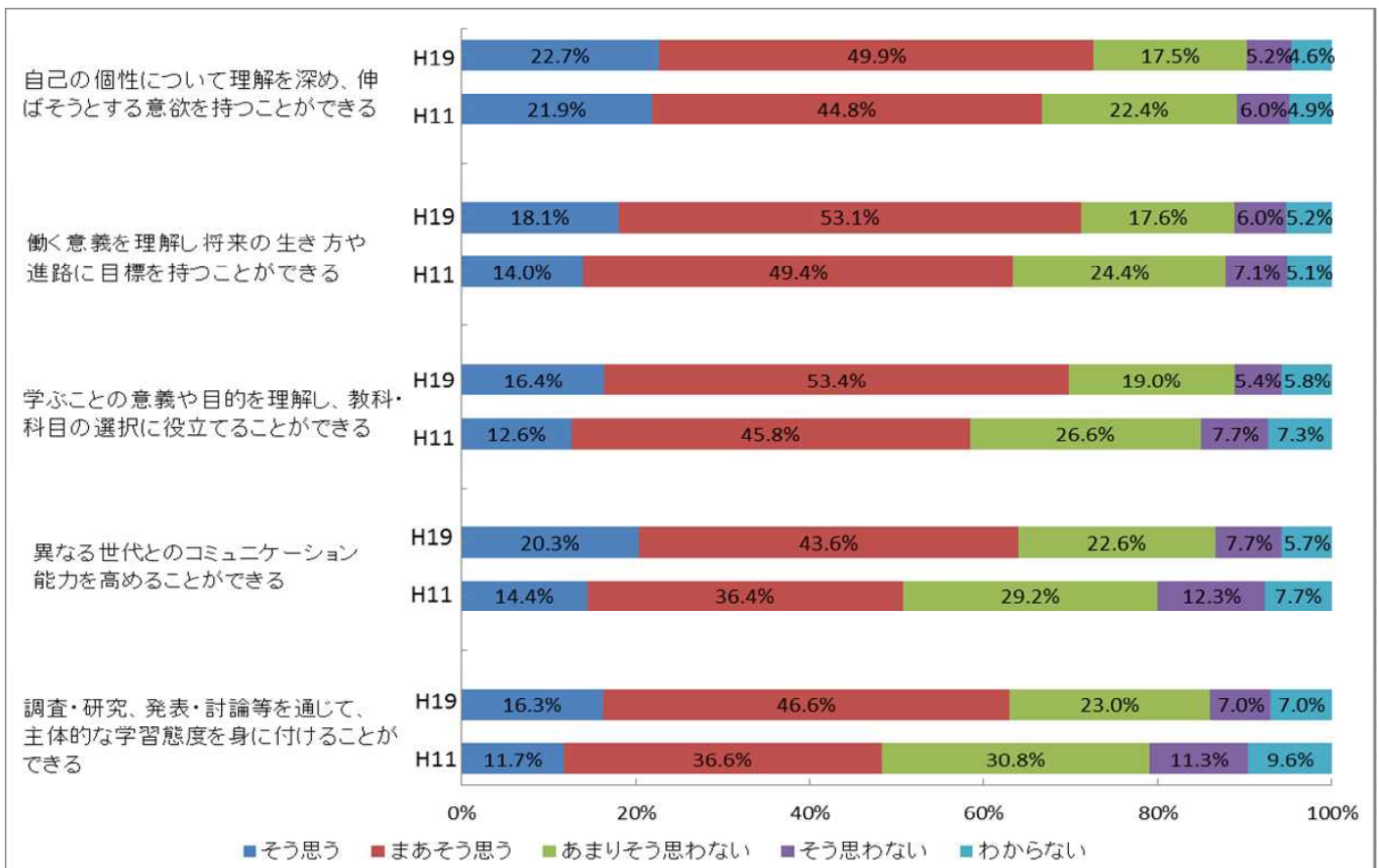


n=107

出典：平成19年度国立教育政策研究所「今後の後期中等教育の在り方に関する調査研究「総合学科に関する調査」報告書」202

「産業社会と人間」を学ぶ意義

○ 平成19年度は産業社会と人間を学ぶ意義は全ての項目において肯定的な回答が7割前後。平成11年調査と比べても全ての項目で肯定的回答の割合が高くなっている。



出典：平成19年度国立教育政策研究所「今後の後期中等教育の在り方に関する調査研究「総合学科に関する調査」報告書」

【「論点整理」における指摘】

○ 学び直し等の多様な要請に応えるため、各高等学校が生徒の実態等を考慮して、学校設定教科・科目を活用することや、学習指導要領上の教科・科目等について標準単位数を増加して対応することなども、「カリキュラム・マネジメント」の中で検討されるべきである。こうした柔軟な対応のために必要な事項についても、総則の在り方をはじめとした今後の検討の中で整理していくことが求められる。

(主な意見)

- ・義務教育段階で十分に学べなかった子に対する学び直しは本当に大切なこと。高校を卒業する時点で必要な、18歳として必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、学習意欲等をどのようにしてもう一度彼らに取り戻すのかということを考えておく必要。
- ・高校生の場合、家庭の貧困と教育格差が直結しやすい。親が病気とか一人親家庭だと、家族の介護や家計のためのアルバイトで忙しくなり、学校に行きたくても行けなくなって辞めざるを得ない現状もある。いったん辞めてしまうと、学び直したくても金銭的にも時間的にも精神的にも難しい。しかし、現実的にスキルも何も付いていなければ、なかなか正規雇用には結びつかず、結局、非正規雇用のまま貧困を生きていくという子供たちも少なくない。そこも踏まえ、学校にいる間にいかにベーシックスキルを担保するかということも大事。

「義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための指導」に関する 現行の学習指導要領における位置付け

高等学校学習指導要領

第1章 総則

第5款 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項

3 指導計画の作成に当たって配慮すべき事項

各学校においては、次の事項に配慮しながら、学校の創意工夫を生かし、全体として、調査のとれた具体的な指導計画を作成するものとする。

(3) 学校や生徒の実態等に応じ、必要がある場合には、例えば次のような工夫を行い、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るようにすること。

ア 各教科・科目の指導に当たり、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための学習機会を設けること。

イ 義務教育段階での学習内容の確実な定着を図りながら、必修教科・科目の内容を十分に習得させることができるよう、その単位数を標準単位数の標準の限度を超えて増加して配当すること。

ウ 義務教育段階での学習内容の確実な定着を図ることを目標とした学校設定科目等を履修させた後に、必修教科・科目を履修させるようにすること。

○趣旨

高等学校を卒業するまでにすべての生徒が必修教科・科目の内容を学習する必要があるが、その内容を十分に理解するためには、義務教育段階の学習内容が定着していることが前提として必要となるものであることから、それが不十分であることにより必修教科・科目の内容が理解できないということのないよう、必修教科・科目を履修する際又は履修する前などにそうした学習内容の確実な定着を図れるようにする配慮を求めたもの。

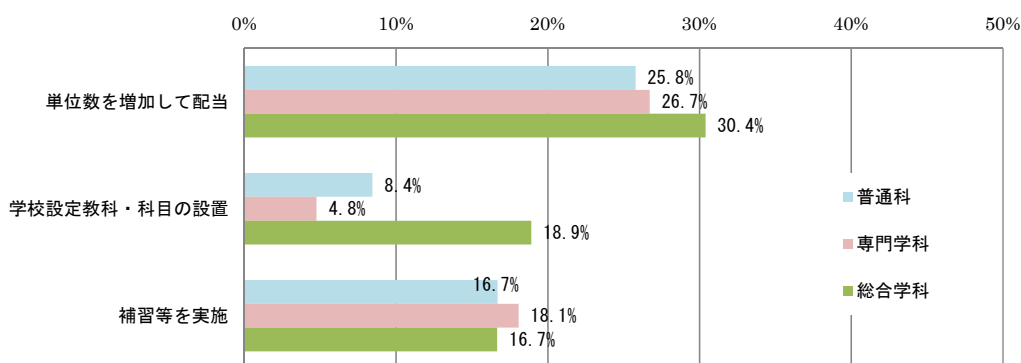
○学校設定科目による対応について

学校設定科目の目標や内容については「その科目の属する教科の目標に基づき」定めることとされており(総則第2款の4)、学校設定教科及び当該教科に関する科目の目標や内容については「高等学校教育の目標及びその水準の維持等に十分配慮」しなければならないとされているが(総則第2款の5)、高等学校教育の目標は義務教育の成果を発展・拡充させることであることから、生徒の実態に応じ義務教育段階の学習内容について確実な定着を図り、その成果を発展・拡充させるために、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図ることを目標とした学校設定教科・科目を高等学校の教科・科目として開設し、その単位数を卒業までに修得すべき単位数に加えることは、このような高等学校教育の目標や総則第2款の4及び5の規定に適合するものである。

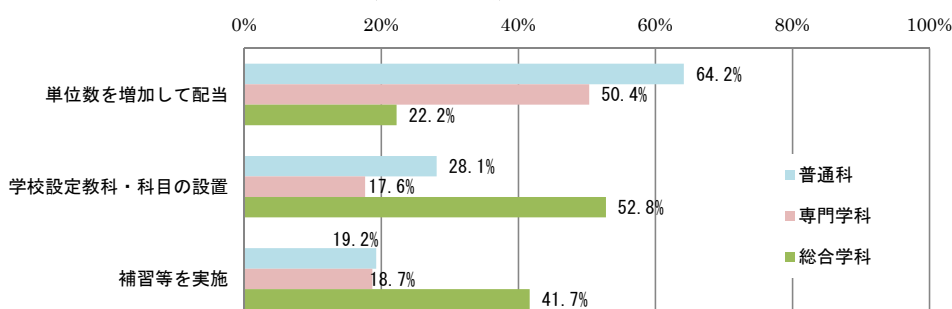
義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための指導の実施状況①

平成26年度における義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための指導の実施状況について、①必履修教科・科目の「標準単位数を超えて増加して配当」することによる指導と、②「学校設定教科・科目を設置」することによる指導、③「放課後や長期休暇、土曜日等の補習」による指導の3点について調査したところ、①の方法により実施する学校の割合が比較的高かった。

実施態様（全日制）



実施態様（定時制）



(出典)平成27年度公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査の結果について
206

義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための指導の実施状況②

(1)義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るため、標準単位数を超えて増加して配当している教科・科目の有無

※ 平成21年度改訂高等学校学習指導要領第1章総則第5款の3の(3)に示す事項のうち、「イ 義務教育段階での学習内容の確実な定着を図りながら、必履修教科・科目の内容を十分に習得させることができるよう」、その単位数を標準単位数を超えて増加して配当した場合。

	有り		無し	
	普通科	専門学科	総合学科	割合
全日制	25.8%	26.7%	30.4%	74.2%
	64.2%	50.4%	22.2%	35.8%
	19.2%	18.7%	41.7%	77.8%

(2)(1)を実施している教科

(複数回答)

		国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	その他
		割合	16.4%	7.7%	6.0%	15.0%	9.2%	19.1%
全日制	普通科	17.0%	1.4%	2.9%	14.5%	6.2%	11.6%	1.4%
	専門学科	11.5%	3.4%	2.0%	16.9%	2.4%	20.3%	0.7%
	総合学科	39.4%	17.5%	16.6%	55.5%	25.9%	48.2%	9.3%
定時制	普通科	16.2%	3.6%	5.0%	41.7%	5.0%	34.2%	4.0%
	専門学科	5.6%	2.8%	0.0%	16.7%	0.0%	13.9%	0.0%
	総合学科							

義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るため、標準単位数を超えて増加して配当している教科(内数)(全日制普通科)

